

巻頭言

福山平成大学 福祉健康学部
健康スポーツ科学科長 石橋 勇

平成16年に本学に福祉健康学部が設置され、翌年度からこの福祉健康科学研究がスタートしました。学部の歴史とともに、今年も第14巻が発刊される運びとなり大変喜ばしいことだと感じております。この研究紀要は本学部教員の研究活動を単に掲載し発刊しただけのものではなく、研究成果を社会に公表し、特に各専門分野で研究を通じて地域社会に貢献するためのものだと考えます。地方の大学の研究活動は、その地域社会に還元できる研究を進めていくことも大きな使命です。また、こういった研究の内容が学生への授業や教員の社会活動に還元されることも大いに期待でき、地域社会に貢献できる人材の養成にも繋がっていると自負しております。そういった意味でも、この福祉健康学部研究の存在意義は大きいと考えております。

福祉健康学部の研究領域を大きく分けると「福祉分野」、「健康・スポーツ分野」、「保育・教育分野」に分けることが出来ます。この研究領域を見ると、人間のライフステージの全てを網羅している学部であることが分かります。そこには当然のことながら各分野の専門家が揃っておりますので、今後もそういった視点で「ヒトやヒトを取り巻く環境」を対象とした研究が続くよう祈念しております。

社会環境の変化が著しい時代の中で、その時代に即したニーズの高い研究活動を行い、研究を基盤とした教育活動・社会活動が出来るよう、今後も大学の使命として研究活動の公表ができれば幸いです。

最後になりましたが、福祉健康科学研究第14巻を発刊するにあたり、投稿して頂いた先生方、査読して頂いた先生方、また紀要委員長の磨井教授を中心に発刊までに様々な業務に携わって頂きました紀要委員会の先生方に感謝申し上げます。